

施工計画と安全対策について

工事名 : 令和2年度 河津下田道路梨本逆川地区道路建設工事

地区名 下田地区
会社名 河津建設株式会社

監理技術者 谷 政久
(技術者番号 00161736)

1. はじめに

工事概要

本工事は、伊豆縦貫河津下田道路Ⅱ期線 逆川地区の擁壁工及びカルバート工、南郷地区では受入土の盛土、加増野地区では残土受入準備を施工することを目的とした工事である。

工 事 名 令和2年度 河津下田道路梨本逆川地区道路建設工事

発 注 者 国土交通省 中部地方整備局 沼津河川国道事務所

工事場所 静岡県 賀茂郡 河津町 梨本～逆川 地先

工 期 令和2年7月1日 ～ 令和3年3月26日

工事内容 逆川地区

準備工（伐採・運搬処分 4,250m²）

道路土工（土工 6,800m³、盛土工 3,900m³、残土処理 6,400m³）

地盤改良工（中層混合処理 682m²）

擁壁工（補強土壁 204m²）、場所内函渠工(1式)

舗装工(1式)、排水構造物工(1式)、仮設工(1式)

南郷地区

道路土工（土工 6,900m³、盛土工 27,600m³）

排水構造物工(1式)、仮設工(1式)

加増野地区

準備工（伐採・運搬処分 11,700m²）

排水構造物工(1式)、仮設工(1式)



2. 現場における問題点

逆川地区

今工事は擁壁工、排水路工、道路土工が完成工種ではなく暫定的な完成として工事が終了することから、次工事が施工しやすくなるように終わらせかつ工期内に完成させる必要があった。また、現場横には主要道路があり、一般車両、近隣住民への配慮が必要となった。

南郷地区

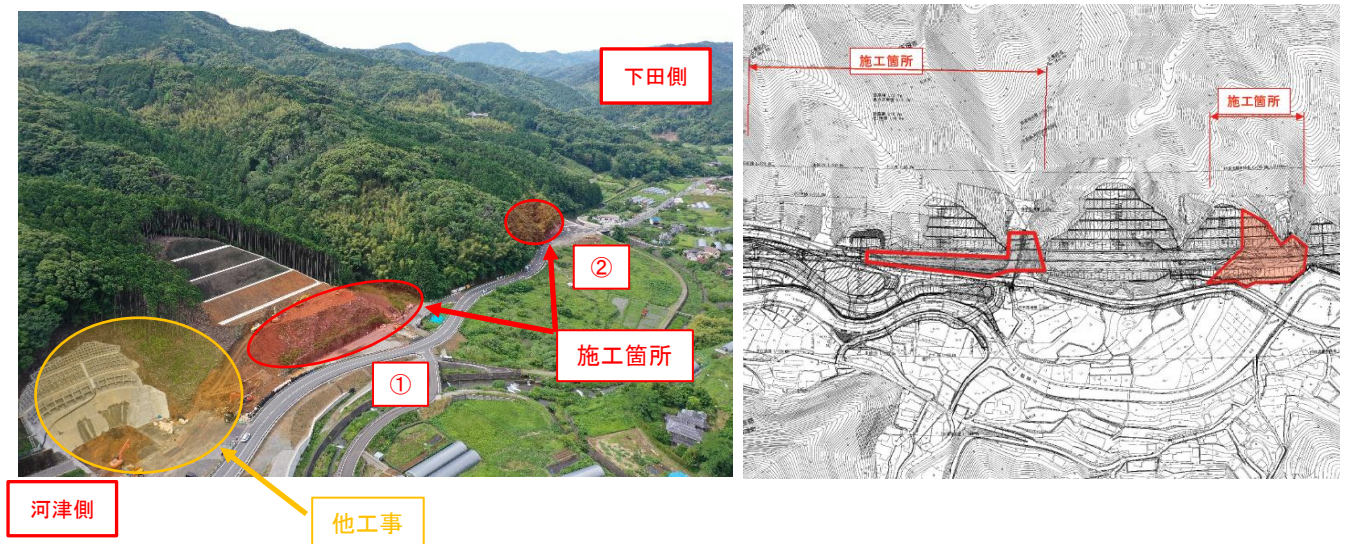
南郷は周辺には観光客が多く田畑もあることから近隣への配慮が必要となるとともに他工事で残土の受入れ地でもあることから他工事の進捗に合わせた受入れができるように配慮しなければならなかった。

加増野地区

新たな残土処理場として多くの残土を受け入れられる施設として処理場の利便性を考えなければならなかった。

3. 対応策

逆川地区



当初計画では、上記写真における①の施工区域のみの施工であったが、一部、他工事が施工中であることから、発注者と他工事の進捗を遅らせなく全体計画が進捗する施工フローを打合せ、他工事の次の橋工事、①、②間の山切工事、②から下田側の工事が着手しやすいように計画を行った。

①施工区域は伐採、施工ヤード作成、仮排水、構造物撤去、地盤改良、函渠、排水構造物、擁壁工の施工であり、多種多様な構造物が密となっている施工区域であった。よって、工程の短縮が求められたが、サウンディング調査、ボーリング調査を行うことでより確実な地盤改良を行うことができ、施工ヤードを増設することにより函渠の施工までを急ピッチに完了させることができたため、その後、擁壁工、函内水路、函内舗装、排水構造物の施工が同時に行うことができ、工程の短縮となった。

また、施工後に大きなヤードができたため、次工事の施工が着手しやすくなった。

②施工区域は主要道路横の伐採を行い作業ヤードを確保したことから②施工区域を使用した次工事の施工が着手しやすくなった。



現場横は主要道路であるため一般車両、近隣住民の配慮として現場出入り口の舗装を行うことで、ダンプトラック、資機材運搬車両に泥がつかなくなり、主要道路を汚すことがなかった。また、強風による粉塵の飛散防止や雨天時の濁水流失防止にも役立った。当初、主要道路は一部冠水していたため、一般車両は冠水か所を避けて対向車線にはみだし走行していたため、路面排水孔を増設し主要道路が安全に走行できるようにするとともに道路法面が路面排水により浸食されないよう張コンクリートを行い道路の保全をはかった。



出入り口の舗装



道路の冠水



張コンクリート

南郷地区

南郷地区は近隣への配慮が必要であることから泥や粉塵対策を考えた。残土は他工事の進捗に合わせて受け入れを行うため近隣対策として雨天でも残土の受け入れだけは施工可能となるようにタイヤ洗浄機とともに水中ポンプを利用加工した散水を行うことでダンプトラックについた泥を洗い流すことができ受け入れが可能となった。また、晴天時は粉塵対策にも効果があり、工期を通じて使用しました。



加増野地区

加増野地区は新設の残土処理場であることから、残土の受入れが早急にできるとともに多くのダンプトラックが場内で円滑に走行できることを考えた。

まずダンプトラックの通路部分になる暗渠及び最初に受入れる場所の伐採・伐根・段切りを早急に行い、施工時の受け入れを可能としました。また、ダンプトラックが円を描くように走行出来るようにしたことで、ダンプトラック同士の待機時間を短くすることができ多くのダンプトラックの受入れが可能となりました。

雨天時の対策として既設のコンクリート舗装をダンプトラックの搬出時に走行させることで一般道路へ泥を引っ張ることのないようにしました。



着手前



施工完了

4. おわりに

本工事の施工は、他工事の進捗や民家の隣接する場所であり、天候に大きく左右される工事であった。また、工期が限られた中、施工場所が伊豆半島の東海岸から西海岸とさまざまな場所に点在し移動に時間がかかるため、入念な準備を検討する必要があった。

事前の様々な対策、打合せを行うことで何事もなく限られた工期内に完了できたと思う。

このような施工も地元の方々、施工協議等に対応してくださった発注者、町役場、調整等で協力してくれた関連施工業者のおかげで本工事を無事に完成することができた。今後も事前の対策、関係者とのコミュニケーションを大切に現場を施工していこうと思います。